

どうぶつとなかよし①

1年生活科 1月～2月〈12時間〉
 附属新潟小学校 教諭 三星 雄大

1 本単元で目指す姿

モルモットに親しみをもって接しながら、モルモットとのかかわりを深める子ども
 具体的には、モルモットを自分とのかかわりでとらえながら、**既有的知識や経験と気付いたこととを関係付けながら考える**という「見方・考え方」を働かせ、様々な資質・能力を發揮しながら、より一層モルモットを大切にしようとする姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
生活科	○生命をもっていることや成長していることに気付くこと	○変化や成長の様子に関心をもって働きかける力	○生き物への親しみを持ち、大切にしようとする態度

3 単元の計画

次	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	時
一 次	<ul style="list-style-type: none"> ○ どうぶつふれあいセンターへ行き、様々な動物とふれあう。 ・モルモットの毛がふわふわして気持ちがいい。 ○ 楽しかったことを交流し、モルモットを飼育したい気持ちになる。 ・モルモットをさわることができて、楽しかった。学校で飼ってみたい。 ○ 大切にしたいことを共有する。 ・モルモットのことを考えてさわったりお世話をしたりする。 ・学級のみんなで協力して頑張る。 ○ 準備することと必要な物を調べ、共有する。 ・どんな世話が必要なのかを調べる。 ・何を食べるのかを調べる。 ・小屋とかえさとかが必要になる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ◎モルモットを学校に迎えるために必要なことやものを考えよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なお世話が分かった。休みの日はホームステイをして、モルモットの世話をしていこう。 ・モルモットが学校に来るから、入学式をして迎えてあげたい。 ○ モルモットの入学式に向けて準備を行う。 ・僕たちも入学式をしてもらった。同じことをモルモットにしたい。 ○ 飼育活動を頑張ろうという意欲を高める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; background-color: #ffffcc;"> ○ モルモットがかわいかった。毎日モルモットが喜ぶお世話をしたい。（※枠内は例） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ どうぶつふれあいセンターへ行くことを提案する。 ※ モルモットのふれあい体験を行う。 ◆ どうぶつふれあいセンターへ行って楽しかったことを問う。 ◆ モルモットを飼うときに大切にしたいことを問う。 ◆ モルモットを飼うまでに準備することと必要な物を問う。 ※ 学校図書館や市立図書館からモルモットの飼育に関する本を借りておく。 ※ 家族に聞くなど家で調べる期間を設定した後、情報を共有させる。 ◆ モルモットの入学式をしたいという願いを採り上げ、どのように思うかを問う。 ※ モルモットの入学式の式次第や役割についても確認する。 ◆ モルモットの入学式を行い、思ったこととこれから頑張りたいことを問う。 ※ 入学式後、学級活動の時間にモルモットの名前を決める時間を設定する。 ※ 入学式には、獣医師（宮川先生）も参加してもらう。 	5 時 間

◎モルモットとなかよくなるためにお世話をがんばろう

- 日常の世話活動を行い、モルモット日誌*1に記録する。
★協働性、ツール活用能力
- 一人一人がモルモットにしてあげたいことを考える。

○ 宮川先生が教えてくれたから、モルモットにリンゴを食べさせたい。

- 理由と実行するために必要なことを考える。

○ だから、当番のときにお母さんに頼んで用意してもらって持ってきたい。

- モルモットにしてあげたいことを実行し、振り返る。

○ 私が持ってきたリンゴを食べてくれてすごく嬉しい。
★生活科②③

- 気付いたことを交流する。

○ やっぱリンゴが好きだと言うことが分かった。ムシャムシャおいしそうに食べていた。私は食べているのを見て嬉しかった。
★生活科②③

- モルモットと自分とのかかわりを想起し、嬉しかったことを考える。
★協働性、ツール活用能力

○ 最初は、私がエサをあげても食べてくれないこともあった。でも、今は私が近寄るとすぐに来てくれるようになったから嬉しい。
★生活科①②③

- 宮川先生にモルモットと自分とのかかわり方を価値付けてもらい、モルモットとのかかわりを深める。

○ モルモットとなかよくなるために、何が好きかを自分で考えたり友達と話し合っ考えた。モルモットと前よりもなかよくなれて嬉しかった。そして、宮川先生からモルモットが元気だと言われてよかった。もっともっとモルモットとなかよくなりたい。
★生活科①②③

※ 休日のお世話は、希望者によるホームステイである。

- ※ 飼育活動は、3～4人の当番制とする。そのほかに、国語の「書くこと」の時間で観察文を書く時間を設定する。
- ◆ **自分がモルモットにしてあげたいことと理由を問う。【働き掛け1】**

←「エサをあげること」「掃除を頑張ること」「なでてあげること」など

- ◆ **モルモットにしてあげたいことを実行するための方法を問う。【働き掛け2】**

←「家で準備したい」「友達と協力して頑張りたい」「ホームステイの時に頑張りたい」など

- ◆ **モルモットにしてあげたいことを実行する時間を一定期間設定し、できたことと思っことを問う。【働き掛け3-①】**

←自分で決めたことができたかどうかを振り返り、満足する。

- ◆ **モルモットにしてあげたいことを実行してみ気付いたことを交流する場を設定する。【働き掛け3-②】**

←自分にはない視点で振り返っている友達の発言により、モルモットと自分とのかかわりをとらえなおす。

- ◆ **モルモットとのかかわりを通して、自分が嬉しかったことを問う。【働き掛け4】**

←「エサやり」「モルモットが懐いてきたこと」「モルモットの成長」「新しい発見」「生命をもっていること」といった視点で考える。

- ★初等教育研究会1日目公開場面★
- ◆ **獣医師と交流する場を設定し、これから頑張りたいことを問う。【働き掛け5】**

←以下のような子どもが想定できる。
①これまでと同じかかわり方で、更になかよくなれるようにしたいと考える。
②これまでとは違うかかわり方で、更になかよくなれるようにしたいと考える。

★初等教育研究会2日目公開場面★

*1: ロイロノートを活用し、モルモットと自分とのかかわりを動画で記録できる日誌。当番の子どもが毎日記録し、一人一人が持っているタブレット端末にデータを転送する。こうすることにより「モルモットがいつ、どのような様子だったか」「自分はモルモットとどのようにかかわっていたか」を具体的に想起することができる。

どうぶつとなかよし②

1年生活科 2月〈4時間〉
 附属新潟小学校 教諭 三星 雄大

1 本単元で目指す姿

モルモットに親しみをもって接しながら、モルモットとのかかわりを深める子ども
 具体的には、モルモットを自分とのかかわりでとらえながら、**既知の知識や経験と気付いたこととを関係付けながら考える**という「見方・考え方」を働かせ、様々な資質・能力を發揮しながら、より一層モルモットを大切にしようとする姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
生活科	○生命をもっていることや成長していることに気付くこと	○変化や成長の様子に関心をもって働きかける力	○生き物への親しみを持ち、大切にしようとする態度

3 単元の計画

次	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	時
一 次	<p>○ モルモットの誕生会について具体的なイメージを共有する。</p> <p>○ ぼくが誕生日のときは、プレゼントをもらった。だから、モルモットにプレゼントを渡してあげたい。</p> <p>◎誕生会を開いて、モルモットを喜ばせよう</p> <p>↓</p> <p>○ 理由を考える。</p> <p>○ 僕が、プレゼントをもらったときすごく嬉しかった。だから、モルモットも大好きなえさとかをプレゼントしたら喜ぶと思う。</p> <p>↓</p> <p>○ モルモットの誕生会を行ってみて、嬉しかったことを考える。</p> <p>○ 僕が、プレゼントしたにんじんをたくさん食べてくれた。きっと喜んでくれたと思う。 ☆生活科①②③</p> <p>↓</p> <p>○ より一層モルモットを大切にしようとする。</p> <p>○ みんなでお祝いをしたから、モルモットは喜んでくれたと思う。トンネルをあげたり大好きなおやつをあげたりしたからだ。嬉しいときに出す鳴き声も聞こえた。喜んでくれたから僕も嬉しい。次の誕生会は、別のプレゼントをあげて喜ばせたい。 ☆生活科①②③</p>	<p>◆ モルモットの誕生会を開くことを提案し、何をどのようにするのかを問う。 【働き掛け1】</p> <p>◆ モルモットの誕生会でしてあげたいことの理由を問う。 【働き掛け2】</p> <p>◆ モルモットの誕生会を開き、嬉しかったことを問う。 【働き掛け3】</p> <p>◆ 嬉しかったことを伝え合う場を設定し、これから頑張りたいことを問う。 【働き掛け4】</p>	4 時 間

どうぶつとなかよし③

1年生活科 3月〈4時間〉
 附属新潟小学校 教諭 三星 雄大

1 本単元で目指す姿

モルモットとのかかわりを振り返ることを通して、自分の成長に気付く子ども
 具体的には、モルモットを自分とのかかわりでとらえながら、自分自身と気付いたこととを関係付けながら考えるという「見方・考え方」を働かせ、様々な資質・能力を發揮しながら、自分の成長に気付く姿。

2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
生活科	○自分でできるようになったことに気付くこと	○自分の生活や成長について考える力	○これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとする態度

3 単元の計画

次	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	時
一 次	<p>○ 自分ができるようになったことを想起する。</p> <p>○ 最初は、掃除がうまくできなかったけど、今は、班で相談しながらできるようになった。</p> <p>◎ 「できるようになったこと発表会」をしよう</p> <p>↓</p> <p>○ できるようになったことを発表しよう。</p> <p>○ 僕も〇〇さんが言ったように、最初はだっこすることが難しかったけど、今ではだっこできるようになった。</p> <p>↓</p> <p>○ これからの世話について考える。</p> <p>○ やっとお世話の仕方も分かってきたし、モルモットも自分たちに懐いてきた。だから、2年生になってもお世話が続けたい。 ☆生活科①②③</p> <p>↓</p> <p>○ 自分の成長について考える。 ☆生活科①②③</p> <p>↓</p> <p>○ おおきくなるっていうことは、モルモットの気持ちが分かるようになるってこと。分からないことがあったら調べたり毎日見たりして鳴き声、動きで気持ちが分かるようになった。やっとお世話の仕方も分かってきたし、モルモットも自分たちに懐いてきた。だから、2年生になってもお世話が続けたい。</p>	<p>◆ モルモットと過ごした3ヶ月間を振り返り、自分ができるようになったことを問う。 【働き掛け1】</p> <p>◆ 「できるようになったこと発表会」の場を設定する。 【働き掛け2】</p> <p>◆ これからどうしていきたいかを問う。 【働き掛け3】</p> <p>◆ 成長絵本（「おおきくなるっていうことは」）をつくる場を設定する。 【働き掛け4】</p>	4 時 間

